

## 漢字はなぜ必要か

つぎにもうひとつ、信じていただきたいことがあります。これはむしろいちばんだいじなことで、最初に申しあげるべきことかもしれません。

「漢字は、すべての学問を進めていくために絶対に必要なものである」ということです。

いままでに、十分に申しあげたつもりですから、もうくだいことは申しません。岡潔博士がおっしゃった、「漢字が読めないようでは、数学は絶対にできません」ということばだけは思い出してください。世界がどう変わろうと、今後の五十年、百年後の日本がどう変わろうと、漢字の必要性は絶対になくなりません。日本が世界に誇る精神文化は、また、世界が日本に期待するものは、すべて漢字を通してはじめて理解できるものです。

ですから、漢字の必要性のなくなることは、想像できるかぎりの将来には絶対にありえないことなのです。数学であろうと、医学であろう

と、物理学であろうと、いまの日本文化のどの部門を受け継ぐにせよ、十分な漢字力がなくては絶対にできないことは、だれだって反対できません。それに、言語や文字の本質を考えても、想像できるかぎりの将来において、この必要性はなくならないと考えるべきです。

さて、「漢字が絶対に必要なもの」と信ずることができるならば、必要は記憶の母です。きっと覚えることができます。